

# 心の原風景

## —我が母校—

佐渡市立両津中学校

当校は、昭和35年に創立した「日出づる東中」と東中学校と、「俊英南中」と南中学校が、それぞれ輝かしい53年の歴史に幕を閉じ、両校の統合により昨年4月に「佐渡市立両津中学校」として誕生しました。

今春3月、この両校の精神が引き継がれた第1回卒業生35名が両津湾を望む春日台の学舎から巣立ちました。

4月、校内に目を転じれば、3年生は東中と南中の制服を着用し、1・2年生が身にまとう両津中の制服の3種類が見られ、新進気鋭の活気に満ちあふれています。

当校の教育目標の「あるべき生き方を

学ぶ生徒」は、育てたい生徒の期待像、教職員の指針です。そして、その具現化を図るために、生徒と教職員との英知を結集し、様々な教育活動を展開しています。

ここでは昨年の9月に実施した創立記念行事「校歌の情景を味わおう」について紹介します。



【両津湾を望む春日台に新設された校舎】

一昨年度、公募により「両津中学校校歌」が制定されました。その校歌の歌詞には「ゆるぎなき大佐渡の峰」「心を映す加茂湖の鏡」「きらめく波を見た両津湾」と雄大な自然が表現されています。この校歌の表す情景を体感するために、学区の黒姫トンネル前から大川姫崎集会場までの両津湾沿いの32.5kmを歩きました。また両津の商店街もコースに入れ、地域の方に生徒の歩く様子を見ていただくことで、「新生両津中」をアピールしました。完歩することができた生徒の一人は、「自分に自信をもつことができました」と語っていました。

また、チェックポイントや休憩所として地域から公民館等の施設を快く提供していただきました。

そして、PTAボランティア、郵便局や佐渡東警察署等の関係機関に支えられ実施することができました。



【創立記念行事  
「校歌の情景を味わおう」】

今年度は、9月28日の秋分の日、祝日に開催します。ぜひ、多くの地域の方々から様々な形で参加いただき、地域ぐるみでマナーやモラル、社会性を醸成していく取組にしていきます。

今後も学校と家庭、地域が強い絆で繋がりが、教育活動を推進していくことにより、新生両津中にふさわしい伝統や誇りを築いていきます。